

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2005-73741(P2005-73741A)

【公開日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-304630(P2003-304630)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月10日(2007.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が打ち込まれる遊技領域に配設された、遊技球が入球可能な入球手段と、前記入球手段への遊技球の入球を検出する入球検出手段と、前記入球検出手段での遊技球の入球検出に基づいて所定の遊技利益を付与する遊技利益付与手段とを備えた遊技機において、

前記入球手段への遊技球の入球と、所定条件の成立によって生じる擬似的入球とを判別する判別手段と、

前記判別手段により前記入球手段への遊技球の入球と判別された場合に、前記遊技利益付与手段による、入球についての遊技利益付与を実行させる実行制御手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

さらに、第1識別情報を変動表示する第1識別情報変動表示手段と、

前記第1識別情報変動表示手段での第1識別情報が所定の表示結果となった場合に、遊技者にとって有利な第1遊技状態を発生させる第1遊技状態発生手段とを備え、

前記入球手段は、第1識別情報の変動表示の契機となる第1入球口であることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機において、

前記判別手段は、

前記入球検出手段からの信号が入力される入力部を備え、前記入力部に入力された入力信号と、基準信号とを比較する比較手段と、

前記所定条件の成立の場合に前記比較手段の入力部への信号入力レベルを、前記入球手段への遊技球の入球と判別された場合とは異なるレベルに変更する信号レベル変換手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項3に記載の遊技機において、

前記比較手段は、前記入球検出手段からの信号が入力される前記入力部としての第1入

力部と、基準信号が入力される第2入力部とを備え、これらの入力を比較するものであり

前記信号レベル変換手段は、前記所定条件の成立の場合に前記比較手段の第1入力部への信号入力レベルを、前記入球手段への遊技球の入球と判別された場合とは異なるレベルに変更する

ことを特徴とする遊技機。